

令和 6 年度

新潟県農業再生協議会

(令和 6 年 11 月 26 日開催)

議事録

令和 6 年度新潟県農業再生協議会 議事録

日時：令和 6 年 11 月 26 日

午前 10 時 00 分～11 時 15 分

場所：新潟県自治会館 201 会議室

開会 事務局

- 令和 6 年度新潟県農業再生協議会を開会する。
- はじめに、本協議会の石山会長より、開会の御挨拶を申し上げる。

開会の挨拶（石山会長）

- 本日は、御多用のところ、専門委員の皆様、会員の皆様から御出席を賜り、感謝申し上げます。
- 令和 6 年産の新潟米については、令和 5 年産米の等級低下や収量低下により、農業者の主食用米の作付意向が強まる中、関係機関・団体で一体となり取組を進めてきた結果、主食用米の作付面積は前年並み、生産数量については目標とした 54.6 万トン以内となった。
- 一方、令和 6 年 4 月以降、全国的に米の販売量が堅調に推移する中で、南海トラフ地震臨時情報や、その後の地震・台風等による買い込み需要が発生したことで、8 月から 9 月にかけて、県内でも一部の店舗で米が品薄となった。
- このような状況を踏まえ、本日は、令和 7 年産の県生産目標や産地交付金の活用方針について検討する。新潟米を求める全国の消費者の皆様へ、年間を通じてお届けできるよう安定生産していくことに加え、県内の食品製造事業者の皆様から安定供給が求められている非主食用米についても、しっかり生産をしていくことが重要であると考えている。
- 最後になるが、本日御参集の皆様から忌憚のない御意見を賜るようお願い申し上げます、開会のあいさつとさせていただきます。

事務局

- 本協議会は原則公開としており、議事録についても、新潟県農業再生協議会のホームページに公開することとなっているので、承知願う。
- 本日の出席状況を別紙の出席者名簿で確認する。

～出席者名簿により出席報告～

- それでは、これからの進行について、石山会長にお願いしたいが、いかがか。

会員：異議なし

事務局

- それでは、石山会長にお願いする。

石山会長

- 次第に沿い、議事の進行を務めさせていただく。
- なお、本日の議事録については、事務局で作成することとし、議事録署名人の選任については、慣例により一任いただきたいが、いかがか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、議事録署名人を、全国農業協同組合連合会新潟県本部の高野県本部長、新潟県農業共済組合の佐々木組合長理事にお願いする。
- それでは、情勢報告として、「合理的な費用を考慮した価格形成について」北陸農政局新潟県拠点の田口地方参事官から説明いただく。

北陸農政局新潟県拠点 田口地方参事官

～合理的な費用を考慮した価格形成について（米WG）（資料１）について説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問を受け付けるが、いかがか。
- 特に無いようなので、協議事項に移る。
- 「令和７年産の需要に応じた生産について」まずは、「令和７年産の県生産目標」及び「市町村別生産目安」について、県農産園芸課の渡部課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～「令和7年産米の需要に応じた生産について」（資料2）のうち、「令和7年産の県生産目標」及び「市町村別生産目安」を説明～

石山会長

- それでは、ただいまの説明について、御質問・御意見を受け付けるがいかがか。

全国農業協同組合連合会新潟県本部 高野県本部長

- 新潟米の安定供給の観点から作付面積の拡大というのは必要だと思う。合わせて、収量について、(近年は)きちんと穫れていないので、ここをきちんとやっていかないと、いつまでたっても同じことを繰り返すことになるので、そのことをみんなで共有しながら適正収量の確保に向けた取組に力を入れて欲しい。
- 新潟米の供給量が減っており、新潟米の全国シェアも、モノがなければ低下していくので、きっちり棚を取り返し需要を確保することも、生産拡大と合わせて行政・関係団体一丸となってやっていく必要がある。

石山会長

- 意見として伺った。
- 他に御質問はいかがか。
- 無いようなので、事務局案とさせていただくがよろしいか。

～会員：異議なし～

石山会長

- それでは、事務局案のとおりとさせていただく。
- 続いて、「令和7年度の産地交付金」、「令和7年産の推進策」について、渡部課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～「令和7年産米の需要に応じた生産について」（資料2）のうち、「令和7年度の産地交付金」及び「令和7年産の推進策」を説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

新潟県担い手育成総合支援協議会 山口事務局長

- 非主食用米の生産拡大について、産地交付金を増額して誘導していくとのことだが、米価が高く誘導も難しい中で、単価を上げて、地域の付け足しも加えても、単価が不足する地域はあるのか。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

- 現況の価格水準では、県設定支援を増額しても、(主食用米の所得には) 届きづらいということはある。
- 一方で、県内では米粉など各地域で単価を増額して戦略的に支援している地域もあるので、それらも含めて県として支援していきたい。

石山会長

- 他に、御質問はいかがか。

認定方針作成者連絡協議会 坪谷会長(専門委員)

- 目先の収入だけを追えば、非主食用米を作らないで主食用米に走るということが見受けられるようになる恐れがあるので、こういう時こそ方針作成者が汗をかいて、農業者に対して、周りへの影響や、来年以降の米価も考え、手取りは主食用米より減るかもしれないが、非主食用米にも取り組もうと、方針作成者がかなり強力に言っていないと、抜け駆けするような農家がでてくるので、きっちりとやっていただきたい。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

- 同じような問題意識を持っている。
- 先ほどの資料(19 ページ)でも説明したが、方針作成者へ働きかけをしっかりと行っていきたい。

石山会長

- 他に、御質問はいかがか。

新潟県農業協同組合中央会 横尾専務理事

- 産地交付金について、J Aグループとしても加工用米、米粉用米、新市場開拓用米に支援をお願いしてきて、単価も上げてもらったが、今の主食用米の相対取引価格をみると、なかなかそこまでは届かないというのは同じ意見。
- 本来であれば、もっと産地交付金の支援単価を上げてもらいたいところ。なかなかそれも難しいと思うが、要望ということでお願いしたい。
- また、毎回私どもの会議の中で出る意見だが、方針作成者が地域の会議になかなか全員出てきてもらえなかったりするので、全方針作成者が同じ方向を向いて取り組めるように、私どもも取り組んで行くので、働きかけをお願いしたい。

石山会長

- 意見として伺った。
- 他に、御質問はいかがか。

認定方針作成者連絡協議会 坪谷会長（専門委員）

- 情報提供をさせていただく。
- うるちの加工用米、米粉用米、輸出用米を比べると、輸出用米が一番手取りが高そうに感じるが、先月私のメンバーが現地と価格交渉にいったら、現地からは「あなたたちの状況はわかるが、その単価では買うことができない」と言われた。
- しかし、その単価（輸出先が考えている単価）では、（現在の）主食用米と差があるので、県内の農業者も輸出用米に取り組んでもらえなくなるのではないかと思う。
- 今回、県から単価を上げてもらったが、地域の産地交付金でも輸出用米に手厚く支援して欲しいというのが我々現場の願いなので、地域の再生協議会にもメッセージを出して欲しい。

石山会長

- 意見として伺った。
- 他に、御質問はいかがか。
- 無いようなので、事務局案とさせていただき、国の運用が明らかとなり次第、詰めさせていただく。
- それでは、次の議題へ進ませていただく。
- 「令和7年産の需要に応じた生産に係る推進方針について」新潟県農業協同組合中央会農業振興部の中嶋次長から説明いただく。

新潟県農業協同組合中央会農業振興部 中嶋次長

～「令和7年産米の需要に応じた生産に係る推進方針について」（資料3）を説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問・御意見はいかがか。
- 無いようなので、事務局案のとおりとさせていただき、令和7産米の需要に応じた生産に向けて、県農業再生協議会として取り組んでまいりたい。
- 以上で本日用意した内容は終了となる。
- 議事の進行に協力いただき感謝申し上げます。以上で本日の議事は終了させていただきます。
- それでは、事務局に進行をお返しする。

事務局

- 閉会にあたり、当協議会の副会長である、新潟県農業協同組合中央会の横尾専務理事から閉会の挨拶を申し上げる。

新潟県農業協同組合中央会 横尾専務理事

- 熱心に協議いただき感謝申し上げます。副会長という立場で閉会の挨拶を申し上げます。
- 本日の協議会では、現在の需給状況について関係機関で認識を共有できた。また、令和7年産の県生産目標や産地交付金の支援内容について協議いただいた。
- 本協議会としては、次年産に向けた推進期間を確保するため、昨年度から生産目標を11月中旬に早期提示して取り組んでいる。これは生産目標の通知のみならず、一番重要なのは、需要に応じた生産の意義やメッセージを農業者や方針作成者に届けて初めて功を奏すると思っている。
- 議論の中にもあったが、令和6年産の米価の高騰により、生産現場で主食用米の生産の機運が高まっている状況にある。
- だからこそ、次年産の需給調整をどのように実現していくかは、大変難しい状況にあると認識している。
- 非常に難しい局面ではあるが、関係機関の皆様におかれては、オール新潟で県生産目標の達成に向けた取組に協力いただくよう、よろしくお願いいたします。
- 以上をもって、閉会の挨拶とさせていただきます。

事務局

- 以上をもって、本日の新潟県農業再生協議会を閉じさせていただきます。

議事録署名人

高野 洋

議事録署名人

佐々木 豊